

景況感調査 報告書（平成29年10月期）

臼杵商工会議所

<調査概要>

調査対象：臼杵商工会議所管内21事業所

業種：造船業や醸造業など臼杵市の基幹産業を含む9業種

造船業、醸造業、サービス業、小売業、建設業、保険業、卸売業、製造業、飲食業

調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【項目別景況判断】

前回調査（7月期）より景況判断は悪化。今後の見通しも厳しく、仕入単価の上昇や資金繰りに引き続き不安材料がある。

項目	売上高 (完成工事)	採算	仕入単価 (上昇は-)	従業員 (過剰は-)	業況 (業界)	資金繰り
景況判断 前年同月比						
D I 値	-1	-1	-3	2	-2	-4
景況判断 3ヵ月見通し						
D I 値	-1	-4	-6	2	-4	-4

※サンプル数が少ないため、調査した全業種をまとめてD I 値を出しています。

※D I 値とは、「増加・好転」の判断数から、「減少・悪化」したとする判断数を差し引いた値です。

(D I 値が「+」の場合は「増加・好転」傾向、「-」の場合は「減少・悪化」傾向となります)

※「上向き矢印」は「増加・好転」を表し、「下向き矢印」は「減少・悪化」を表しています。

【いま直面している経営上の問題点】

順位	問題点	回答数
1位	売上不振	6
2位	収益の低下	4
3位	競争の激化	4

コメント

【造船業】

・全般的に引き合いが少なく船価もよってこない。収益改善がなかなか見込めない。経費節約を行うしかない

【観光】

・同業者は現在海外のお客様を誘致することでほぼ成り立っているところが多い。国内の需要は今後ますます減っていくことを思うと、海外へシフトする必要がある。

【いま直面している経営上の問題点】（業種別・上位3つまで）

造船業

- ・売上不振
- ・販売・受注単価の下落
- ・収益の低下

醸造業

- ・需要の停滞
- ・人材不足
- ・競争の激化

建設業

- ・人材不足
- ・需要の停滞
- ・競争の激化

小売業

- ・売上不振
- ・需要の停滞
- ・収益の低下

サービス業

- ・売上不振
- ・需要の停滞

保険業

- ・競争の激化
- ・収益の低下
- ・売上不振

飲食業

- ・収益の低下
- ・売上不振
- ・資金繰り

不動産業

- ・人材不足
- ・需要の停滞